

# JFVSS

JAPANESE  
FOUNDATION  
FOR  
VETERINARY  
SPECIALIST  
SCHOLARSHIP



レクチャー参加者一同

## 第5回 JFVSS 便り 2016.5 月

### 新理事ご挨拶

JFVSS にご支援・ご協力をいただいている皆さま

日頃より、当基金へのご理解とご協力、ありがとうございます。この度、今年2月の総会にて一般社団法人 日本獣医学専門医奨学基金（JFVSS）の理事を拝命いたしました 井上 舞と申します。私はスポンサー企業の担当として立ち上げより当基金に携わらせていただいておりますが、理事の先生たちよりご指名いただきまして今後は理事として基金自体の運営に参加させていただく事となりました。若輩者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

16年3月にコロラド州立大学（以下CSU）にて行われた「猫の内科学実践・猫レクチャー」に参加してきましたのでその概要を理事日よりお届けさせていただきます。

### 猫レクチャーの概要

本レクチャーは、奨学生派遣以外では JFVSS 初の CSU とのコラボレーション事業であり、日米間の交流を強化し、米国の獣医学教育の一端を日本の獣医師の卒後教育として活用することを目的に企画されました。テーマはいくつか候補がありました。Dr. Lappin からご提案頂いた「猫の内科学」に決定した理由は、猫医学が最近日本でも注目を集めており、体系的に学びなおすことのニーズがあるのではないかと考えたためです。

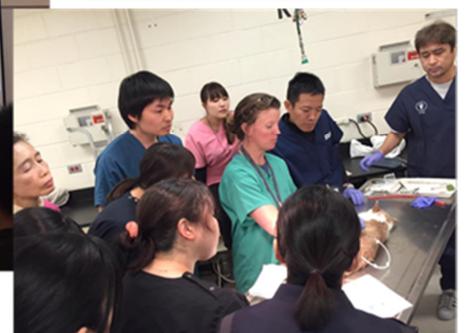
最近では、米国の大学での内科のレクチャーが開催されていない、ということも理由の一つでありました。

さて、テーマが決まったらツアーのアレンジを日洋航空さんをお願いし、参加者募集を、理事たちの人脈をフル活用して、臨床医の先生方にご紹介してきました。その甲斐あって、参加者は当初の定員を超えた33名！！猫がテーマだけあって若手を中心とした女性の先生が多くを占めました（女性獣医師の参加がなんと6割！）。



Dr. Lappin のレクチャーと通訳吉川先生

Dr. MacPhail のデモンストレーション  
徳永先生通訳



## 5日間のフォートコリンズでの生活

レクチャーは5日間、大学の講義棟にかんづめで行われました。CSU側のコーディネーターは内科部長のDr. Lappinで、本レクチャーのメインの講師、実習は外科のDr. MacPhail、通訳はJFVSS第1期生の佐藤雅彦先生、CSU放射線腫瘍専門医の吉川陽人先生、サポートにJFVSS第2期生の徳永暁先生というメンバーです。内容は消化器疾患、呼吸器疾患、内分泌、発熱、泌尿器等、幅広くベーシックな中に最新知見を織り交ぜて紹介してくださいました。個人的に印象に残っているのは、慢性下痢の除外診断として感染性の治療をする際、プロバイオティクスを単独もしくは抗菌薬と併用してなるべく抗菌薬の使用量を減らすようにしているということです。アメリカでも日本でも、最近はナチュラルな治療法を好む傾向にあるとDr. Lappinはおっしゃっていました。彼らのグループではプロバイオティクスの研究を進めており、猫のヘルペスウイルス感染症でも効果があることがわかりつつあるようです。プロバイオティクスの免疫調節機構を活用した医療はひと医学でホットな分野ですが、獣医領域でも実用化されつつあるようです。初日、2日目共にとても良い天気で休憩時には外で語らう姿も見られていたのですが、3日目にはなんと目覚めたら吹雪！10年に一度の大雪だということでこの日は大学全体が休講になりました。そんな中、本レクチャーは何事もなく実施。天候が悪い中朝早くから来て下さったDr. Lappinおよび通訳の先生方には本当に感謝です。

ちなみに、この日代表理事の小林哲也先生が帰国予定だったのですが、雪のせいで全便フライトがキャンセルだったようです。一部には嵐を呼ぶ男という異名がある小林先生の移動日だから雪になったという噂もあるとか？？さて、実習は2-3名で1班となり鼻腔内洗浄、鼻腔マスの生検、気管切開、食道チューブ設置、骨髄留置、関節液採取、硬膜外麻酔、CSF液の採取等々、非常に様々な手技の練習を行いました。外科のDr. MacPhailのデモンストレーションでは、徳永先生の通訳デビューのひとつも見られました。今回のレクチャーツアーで非常に有意義だったことに一つに、参加者及びコロラドの先生たちとの交流が持てたことがあります。5日間は朝から夜までしっかりレクチャーが詰まっておりレジャーが全くなかった分、夜は一同大いに語り合い、特にJFVSS奨学生の佐藤先生や徳永先生、現地の専門医吉川先生から、CSU

での生活や研究・アメリカでの獣医療についての話をたくさん聞くことができました。また、CSUの先生方の、佐藤先生、徳永先生への期待と信頼感も垣間見ることができました。両先生たちがさらに力をつけ、専門医として日本に帰ってきてくれることがとても楽しみになりました。

CSUとJFVSSのコラボセミナーは今後も継続的に実施していきたいと考えています。次回は外科実習をメインにした内容にするか、今回の猫レクチャーをさらにブラッシュアップさせるか、CSUの先生たちと検討中です。次回もぜひ、お楽しみにさせていただきたいと思っています！今後とも、JFVSSへのサポートを何卒よろしく願いいたします。

理事 井上舞

2日目のブレイク中  
Dr. Lappinを囲んで



3日目の朝  
まさかの大雪



### 事務局：

公益財団法人 日本小動物医療センター附属 日本小動物がんセンター内  
〒359-0003 埼玉県所沢市中富南 2-27-4

メールアドレス：info@jfvss.jp ファックス：04-2943-8698

公式ウェブサイト：www.ifvss.jp